

国立大学附属病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）  
の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 配合変化による輸液ルート閉塞の実態調査と検証に関する研究

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 寶金 清博

【研究責任者名・所属】 南須原 康行 （医療安全管理部・准教授）

【研究の目的】

配合変化が原因で輸液ルートが閉塞したと思われる事例を全国の国立大学附属病院へアンケート調査を行い収集し、どの程度の頻度で事象が起こっているのかを把握し、頻度の高い薬剤の組み合わせを確認し、再発防止に役立てるため。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

全国の国立大学附属病院にアンケート調査を依頼し了解が得られた施設において、平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 2 月 29 日の期間に、注射薬にて治療を受けている患者さんのうち、薬剤によってチューブが閉塞してしまった方

○利用するカルテ情報

医療に係る安全管理を行う部門にて把握されている、チューブ閉塞事例における、投与された薬剤名、規格、投与量、投与ルート、投与方法、投与時間、閉塞発見時間

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 医療安全管理部 沖 洋充

電話 011-716-1161 (内線 7761) FAX 011-706-6996